

つながろう! コラボしよう! 元気な“ながの”をつくろう!



まはる

市民協働サポートセンター

TEL.026-223-0051 FAX.026-223-0052

〒380-0835 長野市新田町 1485-1 もんぜんぶら座 3F

npo@nagano-shimin.net http://www.nagano-shimin.net/

・・・NPO・市民協働情報誌



大学生がまちの困りごと解決グループ活動「youth reach」



新しい事象について話し合う「ポップアップ知恵出し会議」年5回



地域にお邪魔して交流会開催「NPOカフェおでかけまんまる」年4回



NPOが企画協力しテーマをかえた「NPOカフェまんまる」毎月開催

市民協働サポートセンターでは、様々な人や組織の交流の場の提供を通して、「協働」の創出を行っています。センターが掲げるミッションは、「協働」が育ち活かされる「ながの」の未来創造拠点です。協働を生み出し、育てていくことはもちろん、センター利用者が夢を語り合い、ともに未来を築いていくための拠点としての役割を大切にしています。

そして新たに、今後3年間のミッションとして、「地域の底力を信じ、市民一人一人を『ローカルヒーロー』に」を掲げます。今一度原点に立ち返り、多世代人材の発掘・育成、人材コーディネートに力を入れていきます。

既存事業の更なる充実、新規事業のスタートを通し、まんまるの輪を広げていきます。主な新規事業は三つ。一つ目は、地域のホットな話題を取り上げ、知恵を出し合い



「協働」が育ち活かされる
ながのの未来創造拠点

まんまるがリニューアル!!

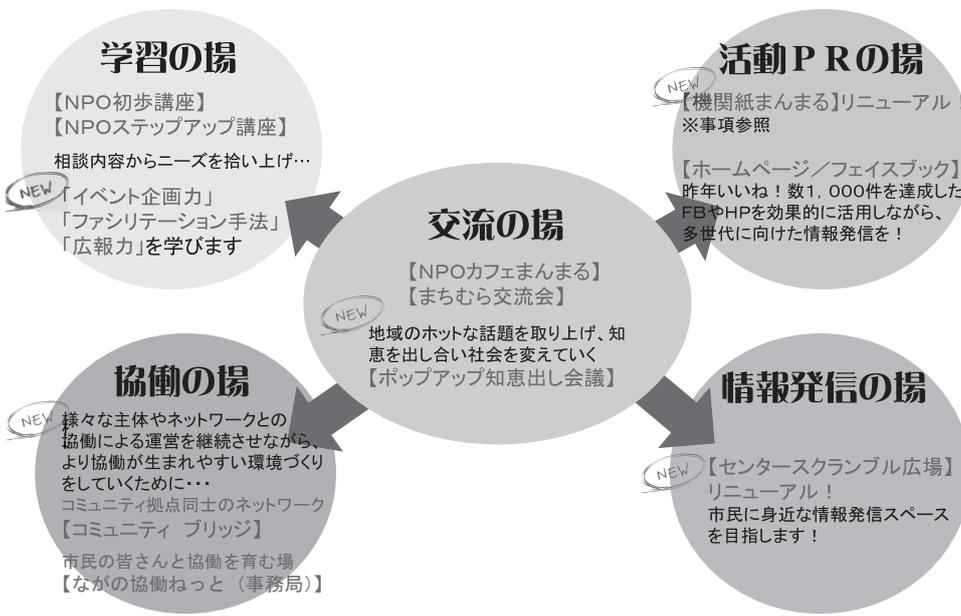
社会を変えていく「ポップアップ知恵出し会議」です。昨年度試験的に2度の開催をし、参加者からは大変好評をいただきました。参加者同士、それぞれの立場で培った知識を出し合い・共有し、そこから新たな発想を生み出していただきたいと思います。二つ目は、若者が、若者目線で「まちの困りごと」にアプローチし、自分たちのできることを探っていく「youth reach」です。昨年度から試験的にスタートしています。NPOと若者をつなぐ役割を担う企画に育てていきたいと思えます。三つ目は、地域にお出かけして開催する「NPOカフェおでかけまんまる」です。住民自治協議会と連携しながらの開催を予定しています。

お気軽に、もんぜんぶら座3階にある当センターへお立ち寄りください。
(提案内容は事項参照)

お気軽に、もんぜんぶら座3階にある当センターへお立ち寄りください。
(提案内容は事項参照)

市民協働サポートセンターリニューアル

協働サポートセンターの5つの輪



地域の底力を信じ、市民一人一人を
ローカルヒーローに

センター運営方針に対する
考え方は次の通りです。
一つ、過去6年間の実績を
活かした運営
二つ、ネットワークを活か
した運営
三つ、センター利用者、関
係者との協働による運営。
市民ボランティア・ながの
協働ねっと関係者、更には新
たなNPOや住民自治協議
会・企業等ともつながりなが
ら、たくさんの方の協働から生み
出される「市民協働サポート



気軽にお出かけください!! スタッフ一同お待ちしております。

私たちがスタッフみなさんと一緒に活動していきます。

- ① 協働が育つ環境の提供
- ② 市民の公益活動への参加促進を促す情報の発信
- ③ NPOや住民自治協議会などへの訪問によるニーズ把握、相談対応
- ④ 協働を生み出すワークショップの企画運営
- ⑤ 人材確保育成と資金調達

センター「まんまる」を目指していきます。
重点事業は次の6つです。
⑥ 協働をテーマにした多様な会合での仲介・対話の促進
積極的に地域に飛び出し、住民自治協議会との協働も視野に、「ローカルヒーロー」発信をしていきます。また、市民ニーズの変化にも柔軟に対応していきます。
「交流の場」を中心とした、「学習の場」「協働の場」「活



協働の場イベント開催7/30予定
【アート×地域×人×生きることはアートだ〜(仮)】
【ヒューマンライブラリーも予定】

広報活動を重点とする各種講座の開催
NPOの立ち上げ、運営、コラボ、広報、助成金など相談受け付けます。気軽に遊びに来てください。
廣田宣子（センター長）
スタッフとして7年目、センター長として2年目。みなさんの伴走者として元気ががんばります。
阿部今日子（副センター長）
ボランティアコーディネーター2級。市民活動歴10年?! 地域に飛び出してみなさんと共に「ひと・こと・もの」をつないで新たな物語を作ります。
矢口映美
コーディネーターとして普通の主婦から一転。縁の下の力持ちとして、みなさんを笑顔でお迎えします。
増田朱美
野菜ソムリエプロ講師として、野菜や果物に詳しいコーディネーターです。
立岡淳志
フリーカメラマン・ライターとしても活躍し、ITにも詳しく情報担当です。
中城隼人
SNSやHPの更新を行う中でさまざまな情報をお届けします。
寺澤順子
フリーの編集者の傍ら、広報支援や、異業種交流会などのコーディネーター役です。

市民協働サポートセンターリニューアル

次号から情報誌「まんまる」がリニューアル!

NPO・市民協働情報誌「まんまる」は、市民協働サポートセンターと改名した2014年7月に、第1号を発行し、今月号で12号となります。「つなごろう! コラボしよう!」元気なながのを作ろう!」をテーマに、まんまるテーブルを囲んでさまざまな交流会や勉強会を開催しその様子をレポートしてきました。

次号13号より、8ページにバージョンアップします。右ページで紹介した今後3年間のまんまるのテーマ「地域の底力を信じ、市民一人一人を『ローカルヒーロー』」を念頭に置き誌面を見直します。未来を創造するための、時流を捉えた特集ページや、人にスポットを当てた取材。新しいNPO法人をキャッチした紹介ページも用意します。また、センターを飛び出して、地域に根ざした活動を現地取材し紹介するコーナーも加わります。

★設置場所募集

情報誌まんまる(A4・8P)を無償で設置していただけるスペースを募集しています。協力店のお名前を誌面で紹介します。カフェや金融機関、病院、商店、支援センターや福祉施設などでぜひご協力ください。

★購読団体募集

長野市内の全NPO法人や関連行政機関に無料で発送しています。ボランティア団体、社会福祉法人、企業などで購読希望の方は、センターまでお申し込みください。個人の方は、当センターまたは設置場所で直接お受け取り下さい。

「まんまるテーブル」席予約開始!!

交流会・ミーティング・打ち合わせ・作業など WiFi完備

市民活動団体に、まんまるテーブル席を無料で貸し出します。1回2〜3時間程度。予約時間は10時〜19時、休館日の第1・第3水曜日を除きます。1テーブル8人程度で、会員同士の交流会やミーティング・打ち合わせ・会議準備作業などなど。団体登録と事前予約が必要です。

団体運営に關わる作業なら一人での利用もご相談ください。

一般向け最大15人程度の交流会については、事前にまんまるスタッフにご相談ください。

急な団体の打ち合わせや作業、ミーティングについても、テーブルが空いていればその場で可能。

3カ月前より、電話または来訪で受け付けます。

0260-223-0051



毎月まんまるテーブルを借りて開催「市民とNPOのひろば編集委員会」

2017年4月～6月 市民協働サポートセンター まんまる スケジュール

タイトル	日時	会場・費用	内容
NPO初歩講座 「きほんのき」	4月26日(水) 13:30～16:00 5月24日(水) 13:30～16:00 6月28日(水) 18:30～21:00	市民協働サポートセンター まんまるテーブル 300円	「NPOってなあに?」この講座ではそんな疑問にお答えしていきます。法人を設立したいという人もまずはこの講座から始めましょう。毎回ゲストに、市内NPO法人を招いて生の声をお聞かせします。講師：市民協働サポートセンター センター長 廣田 宣子
ステップアップ講座 NPO会計のいろは	4月22日(土) 13:30～16:00	もんぜんぶら座 303会議室 300円	NPO法人の多くは3月末に決算をむかえます。この機会に会計の目的や必要性などの基本とNPO法人の会計実務を学びませんか。講師：成迫会計グループ 税理士 北原 正明さん・NPO法人長野県NPOセンター 事務局長 山室 秀俊
ステップアップ講座 NPO広報のいろは① 「コピーライターの基礎知識」	5月20日(土) 13:30～16:00	市民協働サポートセンター まんまるテーブル 300円	コピーライティング概論と簡単な実践ワーク、参加者一人一人の要望に応える形で、楽しく交流しながら進めます。講師：NPO法人夢のデザイン塾事務局長 松井秀夫さん
ステップアップ講座 NPO広報のいろは② 「チラシの作成と集客手法」	6月3日(土) 13:30～16:00	もんぜんぶら座 302会議室 300円	チラシ作成の基礎知識と、集客手法。ゲスト講師・事例発表：ウェルカム三才児プロジェクト太田秋夫さん 講師：まんまるコーディネーター寺澤・立岡
NPOカフェ まんまる NPOカフェ まんまる 女子大生がプロデュース 外国人観光客へ向けた 新しい街歩きマップ発表会 カフェまんまる企画募集中	4月15日(土) 16:00～18:00 5月から9月に2時間程度の交流会を企画して下さる団体	市民協働サポートセンター まんまるテーブル 無料 企画団体には企画 事業費として1万円 進呈します	企画協力：NINJA youth NINNIN 女子大生を中心に昨年夏にスタートしたインバウンド研究会。秋には外国人と一緒に長野の街を歩いて取材。若者目線の英文マップを作成しました。その完成発表会と交流。 テーマ制で市民と交流するNPOカフェまんまる企画を募集します。資格は非営利目的の活動をする団体(法人格は問いません・ボランティアグループでもOKです)。一般市民に呼びかけて、日頃の活動の発表や意見交換をしてみませんか。
まちむら交流会 in 鬼無里 2回シリーズ	6月4日(日) 9:30～14:00 (予定)	鬼無里地区 有料・実費	「早乙女衣装(限定)」でお田植え体験! 美味しい田植えごはんも食べながら交流しましょう。
まちむら交流会 in 芋井 2回シリーズ	6月24日(土) 9:30～14:00 (予定)	芋井地区 有料・実費	葛山史跡探訪及びヤングブルー村(古民家)にて郷土料理作り体験・交流会(予定)
ポップアップ知恵出し会議 「RESASを学びどう社会に生かすか(仮)」	5月8日(月) 15:30～18:00	もんぜんぶら座 303会議室 無料	地域経済分析システム(RESAS:リーサス)は、地方自治体の様々な取り組みを情報面から支援するために、まち・ひと・しごと創生本部事務局が提供する、産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムです。NPO法人S.C.O.P.が企画協力。その活用法を学び、議論します。
ポップアップ知恵出し会議 書籍「モンスターマザー」 ～弁護士が語る真実(仮)～	6月30日(金) 13:30～16:00	もんぜんぶら座 302会議室 無料	ノンフィクション書籍「モンスターマザー」長野・丸手実業「いじめ自殺事件」教師たちの闘い(福田ますみ著・新潮社)。高1の生徒が自殺し、その母親が校長を殺人罪で告訴。教員たちと共に戦い勝訴した佐藤芳嗣弁護士を迎えて、その真実を語っていただきます。楽しい学校生活を送るために、私たちに何が出来るのか。参加者と一緒に考えます。
youth reach メンバー募集!! 「まちの困りごと」お助け人に!	5月～来年3月までの1年間 月1～2回程度	長野市中心部で活動 無料 (飲食などは実費)	大学生、高校生を中心に、様々な「まちの困りごと」を解決するワークショップを行っていきます。テーマを設定して楽しく活動します。共催：NPO法人長野県NPOセンター

元気なNPOや協働事業を紹介



2/21のグループワークの様子

昨年7月にビッグハットで開催約4200人を集めた「ながのこどもわくわくフェスタ」の振り返りと継続を考える会として「ながのこどもわくわくフェスタPART2」が2月21日にモンゼンぷら座地下ホールで開催されました。佐久市子ども未来館の館

長である島崎直也さんの基調講演と子育て支援を考えるワークショップを行いました。島崎さんは子ども達に体験学習の場を提供する活動を通して、地域活動の事例を紹介。私たちの身の回りに楽しいもの、こと、人が存在していると説明し、「失敗を怖がらず、子ども達と一緒に大人も新しい事にチャレンジして楽しんで欲しい」と、話しました。ワークショップでは参加者が5つのグループに分かれて、親と子のいいところ探しと、意見交換を行いました。

グループ発表では「子どもは自由、個性的、感情豊か、素直」「好奇心、探究心が旺盛」「大人は子どもと共に成長出来る」「子どもへの愛情が深い」等の意見がありました。フェスタについては「今後も継続したい」と参加者全員の想いが一致。「大人と子どもとの体験・参加型」「自然と人との触れ合い」「子ども達のアイデアを活かしたフェスタ」「色々な人達とつながり、情報共有や学びの場としたい」と、行政や企業、NPOなど各種団体と様々な参加者が共に考え、意見を出し合いました。

「たぐさんの人とつながって、協力しあって、人にも動物にも優しい住みやすい社会を目指す」をモットーに、将来はシェルターを設け、病気の猫や一時避難等の猫も保護したいそう。気軽に立ち寄れるきつかけとしてワークショップ等も企画中。猫と人の交流の場として今後ますます目が離せません。

定休日・月曜日
営業時間・11時～20時
☎026-219-2796
メール・shinyuneko@yori@gmail.com

実行委員会事務局の、NPO法人ながのこどもの城いきプロジェクト理事の小笠原憲子さんは、「地域の中でつながり、多くの人の意見を出し合って、ながのこどもわくわくフェスタを継続していきたい」と呼びかけました。次回開催に向けて勉強会などを実施する予定です。

ながのこどもわくわくフェスタ実行委員会
(事務局)こども広場じゃん・けん・ぽん
☎026-219-0022

横につながって子育て応援を！

こどもわくわくフェスタ実行委員会



スタッフのみなさん(真ん中が櫻井さん)

NPO法人信州猫日和は、猫が好きな人だけでなく、嫌いな人や困っている人にも理解と協力をしてもらい、活動を大きな力にしていこうために、「保護猫ハウス猫日和」を長野中央郵便局隣接ビルに今年1月にオープンしまし

た。2階の扉を開け、感染予防のための手洗い後、更に二つの扉を開けると……タイムングよくカウンタに受付担当猫がお出迎え。猫が不用意に飛び出さないための工夫もされています。

代表の櫻井さん宅では以前から飼い猫に加え、保護猫を世話していました。その数最大時は32匹も。同時に個人では限界を感じてきたためNPO法人設立を決意し、条件に合う場所を見つけオープンに至りました。

あいスペース。来訪者には入場時に猫のごはんや医療費等に使われる寄附をお願いしています。やさしい色合いの部屋に10数匹の猫はゆったりと自由に過ごしています。猫と触れ合いたい人、いずれは猫の里親になりたい人等、平日は20人、休日は80人程の来場があるそう。

1階は猫モチーフのハンドメイド雑貨や猫のごはんも販売しています。交代で10人ほどのお手伝いボランティアも大好きな猫に囲まれて笑顔で関わっています。

「たぐさんの人とつながって、協力しあって、人にも動物にも優しい住みやすい社会を目指す」をモットーに、将来はシェルターを設け、病気の猫や一時避難等の猫も保護したいそう。気軽に立ち寄れるきつかけとしてワークショップ等も企画中。猫と人の交流の場として今後ますます目が離せません。

定休日・月曜日
営業時間・11時～20時
☎026-219-2796
メール・shinyuneko@yori@gmail.com

保護猫ハウスがオープン！

NPO法人信州猫日和